

課	新規 別 経続	新規 <del>経続</del>	経常. 特別別	経常	担 当	作業課 計画課 造林課	開 発 箇 所	期 間	昭和 60年度 — 昭和 65年度	予 算 科 目	技 術 開 発	経 費	品 名	数 量	単 価	金 額	
			目標との関連	1-ア								物 件 費	調査用品		円	千円	
題	群状択伐によるヤクスギ天然林施業法						下屋久					役 務 費	現像. その他				
目 的	伐期令240年回帰年30年とする群状択伐による天然林施業法の確立をはかる。										人 件 費	(基 礎) 時	( )		( )		
											計	—			( )		
全 体 計 画		実 施 経 過		当 年 度 分													
				実 施 計 画				実 施 結 果				評価および普及計画					
1. 試験地設定		1. 試験地設定		1. 試験地設定				1. 試験地設定									
2. 保残区, 伐採区の決定		2. 保残区, 伐採区の決定		2. 保残区, 伐採区の決定				2. 保残区, 伐採区の決定									
3. 架線, 集材方法の決定と 作業工程調査		3. 架線, 集材方法の決定 と作業工程調査		3. 架線, 集材方法の決定と 作業工程				3. 架線, 集材方法の決定と 作業工程									
(1) 林内照度調査																	
(2) 稚樹発生調査		4. 種子豊凶調査		4. 種子の豊凶調査				4. 種子の豊凶調査									
(3) 植生調査																	
(4) 生長量調査																	
5. 稚樹刈出時期の決定																	
6. 種子豊凶調査																	

# 試験経過記録

区分 任意

下屋久 営林署

(様式4)〜1

## 課題

群状択伐によるヤクスギ天然林施業法

1. 試験地

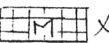

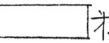

平瀬町国有林9林班3小班

2. 保残区 伐採区

○ 保残区

設定図

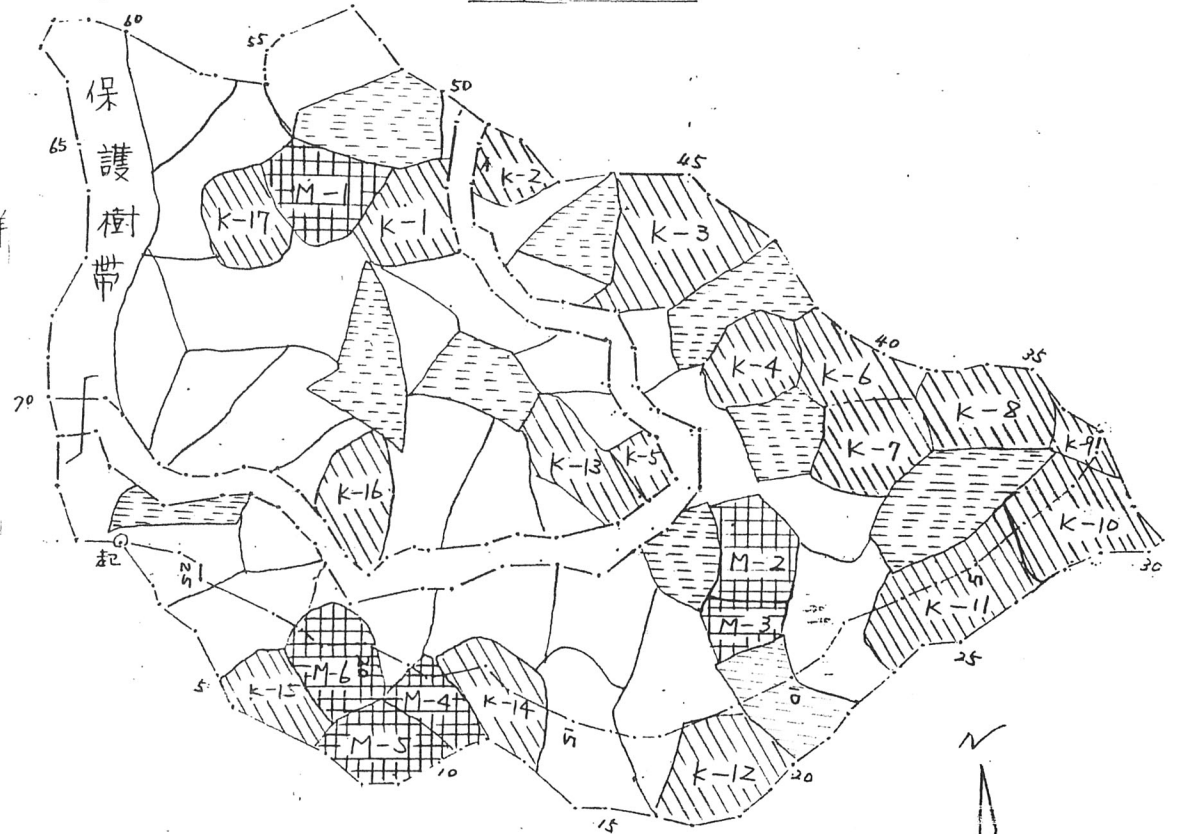
凡例

-  ヤクスギ保残群
-  ヤクスギ "
-  和3回帰群状伐群
-  林道敷

○ 伐採区 10伐区 1.77ha

凡例

- 



記載要領

1. 調査結果及び考察を記入する。
2. 状況写真は別途整理する。

# 試験経過記録

区分 任意

下屋久 営林署

(様式4) ~ 2

## 3. 架線・集材方法 作業条件因子

伐区	作業条件因子											
	架線式	スパン	面積	荷重	主索種類	索傾斜	ケーブル種類	集材距離	横取距離	立木本数	相当立木本数	
1	インドス	388	0.74	2400	東京製鋼 スカロ-70 6x11(1+7)+7 28m/m	6°	片特式 8cpxk	134	14	0.85	492	4.16
2	"	302	0.30	2400	"	9°	4x11 7-4	103	8	0.58	211	4.13
3	"	259	0.75	2600	"	11°	"	109	16	1.08	368	4.00

## 作業工程

伐区	架線作業等実績 込人員					集造材人工数				出材量		実績 工程
	機械撤去	索架設	索撤去	盤台架設	盤台撤去	伐倒	全幹集材	土埋木集材	計	山元	最終	
1	3,375	29,125	15,000	30,125	11,625	25,125	20,750	0	226,875	300,725	216,498	2,28
2	6,875	18,375	5,750	22,500	9,750	20,250	136,500	79,500	206,250	130,999	326,628	1,94
3	-	21,875	-	29,875	-	16,250	-	-	16,750	-	-	-

注) 1: 3伐区の集材枝位置及び元柱は、2伐区と変わす。

2: 実績工程は、土埋木を含む。

豊

## 4. 種子・豊凶

## 5. 考察

現在 3伐区を搬出作業中であり、完了後次回報告で分析予定。

- 記載要領
1. 調査結果及び考察を記入する。
  2. 状況写真は別途整理する。



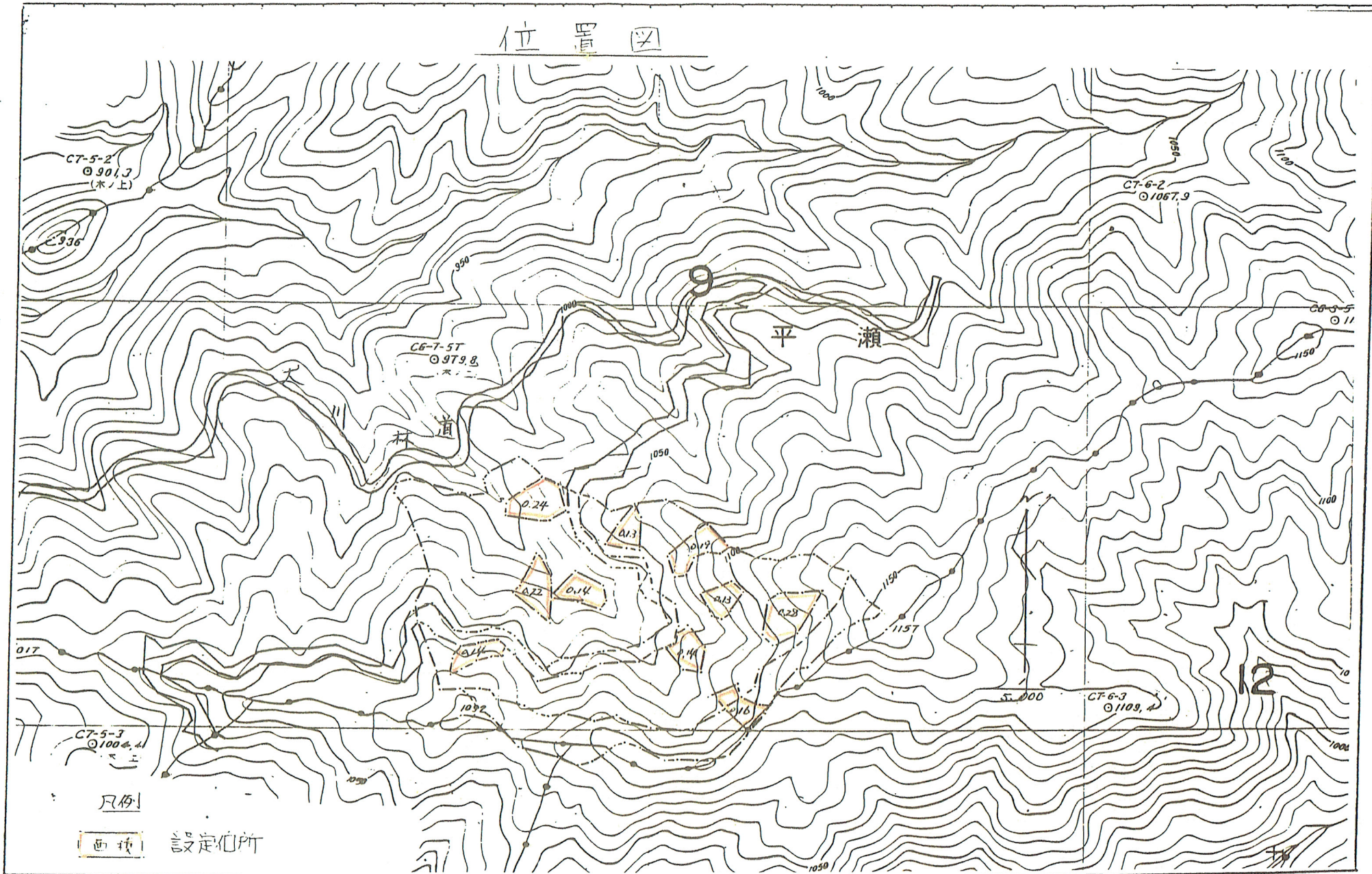
# 試驗經過記錄

區分 | 任意

下屋久 菅林署

(樣式4) ~ 又

## 位置圖



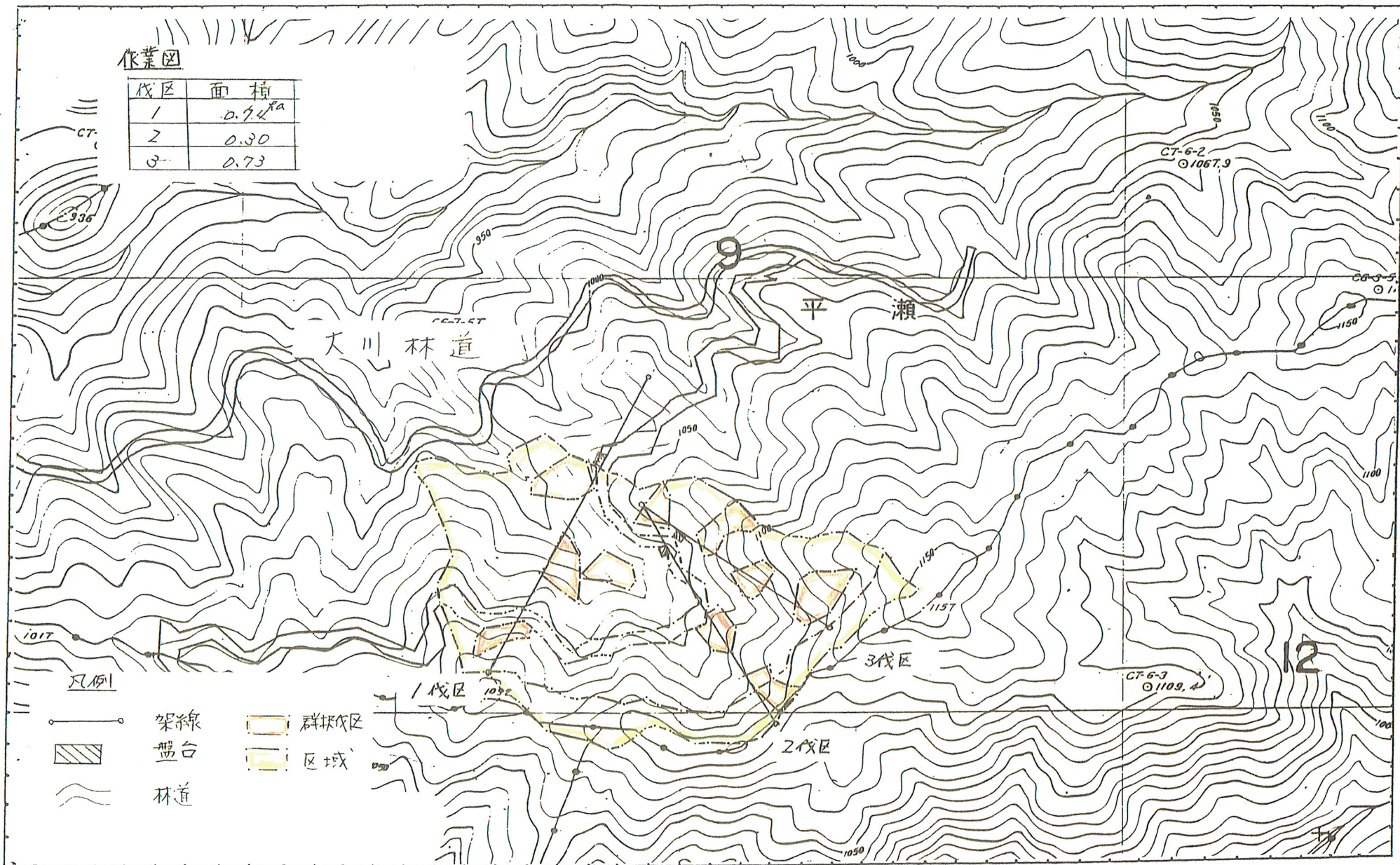


# 試験経過記録

区分 | 任意

下屋久 営林署

(様式4) ~ 2



- 記載要領
1. 調査結果及び考察を記入する。
  2. 状況写真は別途整理する。



# 状 況 写 真

区 分 任意

下屋久 営林署

(様式6)

1 伐区搬出済状況 (盤台そばの扶伐区より先柱を写す)  
(串刺状の扶伐区)



2 伐区搬出作業中の状況 (盤台より先柱を写す)  
(盤台下の伐挿場所は横取りに  
よる集材)



( 任 意 課 題 )

課 題	新規 別 継 続	継 続	経常、特別別	経 常	担 当 課	作 業 課 計 画 課 造 林 課	開 発 箇 所	下 屋 久 間	期 間	昭和 60 年度 ～ 昭和 65 年度	予 算 科 目	業 務 費 ( 生 産 )	経 費	品 名	数 量	単 価	金 額
			目標との関連	1 ～ ア									円	円			
目 的	状 群状択伐によるヤクスギ天然林施業法												物 件 費	調査用品		円	～ 円
													役 務 費	現像、その他			～
													人 件 費	( 基 職 ) 臨 時	( )		( ～ ) ( ～ )
													計	～			( ～ ) ( ～ )
全 体 計 画			実 施 経 過			当 年						実 施 結 果			評 価 お よ び 普 及 計 画		
1. 試験地設定 2. 保残区、伐採区の決定 3. 架線、集材方法の決定と作業工程調査 4. 調査事項 (1) 相対照度調査 (2) 稚樹発生稚調査 (3) 植生調査 (4) 生長量調査 (5) 種子豊凶調査 5. 稚樹刈出時期の決定			1. 試験地設定 (1) 場所 平瀬国有林 9 畝林小班 (2) 面積 区域面積 12,64ha 試験地面積 1,77ha 2. 保残区、伐採区の決定 3. 架線集材方法の決定と作業工程調査 4. 調査事項 (1) 相対照度調査事項 (伐採区、保残区) (2) 稚樹発生調査 (3) 植生調査 (4) 種子豊凶調査			1. 調査事項 (1) 相対照度調査 (伐採区、保残区) (2) 植生調査 (3) 稚樹発生調査			1. 作業工程調査 (3 伐区) 2. 調査事項 (1) 植生調査 (2) 稚樹調査 (3) 種子豊凶調査								